

中央大学杉並高等学校 学校通信



さんさん

杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2024年度第1号(通算112号)

<https://chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川 2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

62期生 入学おめでとう！

2024年4月8日（月）、満開の桜のもと、中央大学杉並高等学校第62回入学式が本校体育館にて行われました。吹奏楽部による演奏の中、厳しい入学試験を突破した新入生たちが緊張しつつも誇らしい表情で入場しました。さらに合唱同好会による校歌も新入生の前で披露され、おごそかでありつつあたたかな雰囲気の入学式となりました。62期のみなさん、ようこそ中杉へ！

入学式次第

- 開式の辞
- 校歌紹介
- 新入生呼名
- 学校長式辞
- 校長 高橋 宏明
- 祝辞 中央大学 副学長 平野 廣和
- 新入生代表宣誓
- 新入生代表
- 学年担当教員紹介
- 閉式の辞

O・M



入学式式辞

自分自身を大切に

中央大学杉並高等学校

校長 高橋 宏明

新入生の皆さん、中央大学杉並高等学校へようこそ、そして、ご入学、誠におめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。中央大学杉並高等学校の教職員一同、新入生の皆さんをお迎えすることができて、大変嬉しく思っております。

この三年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行によって、皆さんは、通常とは異なる環境の中で、苦難と緊張感を伴いながら勉強に励まれてきました。入学試験を乗り越え、本校に入学の日を迎えられたことに對して、改めて心より敬意を表します。

入学式に際して、私が新入生の皆さんに言いたいことは、二つです。一つ目は、皆さんには、先ず自分自身を大切に生きて欲しいということです。当たり前のことですが、人間は一人一人異なります。自分は世界で一人しかいない、「かけがえのない」存在です。過度に他者と比べることなく、また、自分の良いところも悪いところもそのまま受け入れながら、「かけがえのない自分」を大切に生きて欲しいと願っています。

二つ目は、「行動すること」の大切さです。高校時代は、とにかく「やってみること」、「行動すること」を意識して過ごして欲しいと思います。気になったこと、興味や関心を持ったことなどは何でも、直ぐに実行に移してください。頭の中で考えているだけでなく、実際に行動

に移すということ。やってみることで、自分の新たな可能性も開けてきます。やらなければ何事も始まりません。高校生活では、できる限り、主体的に行動してください。

中央大学では出会いを大切に、コミュニケーション能力をしっかりと養い、様々な人の考えや価値観を受け入れつつ、自らの道を切り拓いていって欲しいと願っています。その過程において、自分一人の力で対処できない難題に直面したとしても、出会いで得た人たちと共に考え共に学び、協力協働していくことで、皆さんは課題の解決にたどり着けるでしょうし、何よりも人間的な成長を遂げることになるでしょう。

中央大学杉並高等学校は、愛情と優しさをもって皆さんに寄り添い、皆さんとともに未来を創りたいと思います。これからの高校生活において、どうか健康に留意され、一人一人が充実した素晴らしい高校生活を送れることを祈念し、私のお祝いの式辞とさせていただきます。本当に、ご入学おめでとうございます。



祝辞

中央大学

副学長 平野 廣和

中央大学杉並高等学校入学式が挙行されるに際し、お祝いのご挨拶を申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございませう。厳しい受験勉強を乗り越え、見事に栄光を勝ち取られた皆さんに心から敬意を表します。また、皆さんをこれまで支えてこられたご家族の皆様にも、心からお喜びを申し上げます。

さらに、中央大学関係者一同より、本日入学を迎える皆さんに対して、入学を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

新型コロナウイルス蔓延から4年余り、学校生活や課外活動に関しては大きな制限が加えられことなく、自由な学園生活が戻って来しました。これから皆さんが伸び伸びと、勉強、文化、スポーツ、ボランティア等の諸活動に励み、有意義な学校生活を元気に過ごしていただきたいと思っております。そうして高校生活を行うことで、いつそう大きな成長を遂げられると確信し、これからの皆さんの努力と健闘を讃えたいと思っております。また、入学生のご家族の皆様方には、ご子女への惜しみない愛情とご支援とともに本学に対する多大のご理解を賜り、中央大学関係者一同、敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。本当におめでとうございませう。

さて、中央大学は1885年に英吉利（イギリス）法律学校として創立され、以後139年の間「白門」を象徴とする伝統のなかで総合大学として発展し、「實地應用ノ素ヲ養フ」との建学の精神を社会に実践することを使命としてきました。このことは、今日、「行動する知性—Knowledge into Action—」を育むというメッセージとして受け継がれており、本校の自主性を尊ぶ校風にも引き継がれています。そうした伝統、

建学の精神、校風は、これからも皆さんを支える大きな力となるでしょう。

では、「行動する知性」というメッセージにある「知性」とは、どういうものでしょうか。皆さんは、学校で、さまざまな試験を経るために、いろいろな知識や技能を努力して身に付け、獲得していきます。それらの知識や技能というものは、一つ一つが、その場限りのものであったり、ときとしてバラバラであったりするかもしれません。しかし、知識と知識が結びつき、知識と技能が結びついて、それらがどんな場面で役に立つかが分かると、知識は単なる知識ではなく、「知性」に変わるといえることができます。そして、知性が自分だけのものではなく、人のため、公共のためのものだということも知ると、それを社会のために生かそうという「志」が生まれてくるのだと思えます。「志」が生まれたとき、知性は眠ったままの知識ではなく、「行動する知性」となるのだと思えます。

机の上で得た知識、教室の中で身に付けた技術が、試験の点数で評価されるだけでなく、ひとり一人の人生を支え、御世話になった人達を支え、社会を支えるということを自覚しておいてください。そして、一貫した伝統と歴史に支えられ、皆さんは、行動する知性を身に付けられるのです。

皆さんが本校の生徒であるという誇りをもって、夢と希望をふくらませて、歩むことを祈っております。これから巡り合った人間関係、そしてこれから巡り合うであろう人間関係、それらを大切にして、元気に活躍ください。

皆さんのご健康とご発展を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。本日はご入学おめでとうございます。



新入生宣誓

春の暖かな日差しに包まれ、私達三二七名は、中央大学杉並高等学校の第六二期生として、入学の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。本日は、私達新入生の新たな門出をこのような素晴らしい式でお祝いいただき、また、校長先生並びに平野先生から心のもったご祝辞をいただき、誠にありがとうございます。新入生を代表して心より御礼申し上げます。



私達は今、これから始まる高校生活に少しの不安と緊張を抱くと同時に、大きな期待と希望に胸を膨らませていきます。

思い返せば私が中杉と出会ったのは夏休みに参加した学校説明会でした。生徒総務会の先輩方が「中杉は楽しいよ」と言ってくれたこと、憧れのダンス部の先輩方が一生懸命練習していた姿に感動し、私はぜひこの学校に入りたいと思いました。過去問を何周も何周も解き、受験に臨み、合格の通知を見た時は本当に嬉しくて、泣きながら喜びました。今こうしてこの場に立てていることに安心と喜びを感じています。

先日、私達は中学校を卒業し、九年間の義務教育を修了しました。これまでは義務教育ということもあり、両親や先生方に助けられながら過ごしてきました。しかし、これからは自由に道を選べるようになり、同時に、一つ一つの行動に責任を負う立場となりました。受験会場ではライブ

ルに見えた周りの人も、今日からは共に学び、助け合う仲間。これからの3年間、中杉で過ごす日々の中で、学業はもちろん、部活動、行事の面においても積極的に取り組み、この新たな仲間と共に学校全体を盛り上げていきたいです。時には、努力を重ねても、壁に突き当たりたくさん悩むこともあるかもしれませんが。校長先生をはじめ先生方、先輩方、未熟な私達を厳しくも温かくご指導くださいませ様よろしくお願い致します。

二〇二四年 四月八日
中央大学杉並高等学校

第六二期新入生代表
O・M



浅田次郎 文学碑

正門を入ってすぐのところにあるのが本校第五期卒業生の浅田次郎氏文学碑です。「一以貫之」とは、一つの志で万事を貫くといった意味で、浅田氏はすでに高校生の時から、小説家になりたいという思いを抱き、それを貫き通したとのこと。『論語』に登場する言葉ですが浅田氏の代表作『蒼穹の昴』にもこの言葉が引用されています。どのシーンにあらわれるのか、それを楽しみに読んでみてはいかがでしょうか。



教職員紹介

※（ ）内は担当科目です。

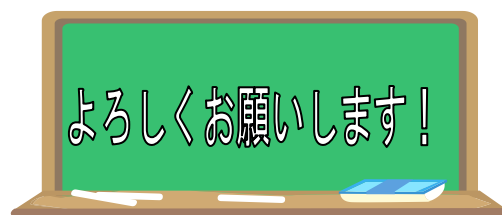
※6月中旬に配布される『学校要覧』もご覧ください。

校長 : 高橋 宏明
 副校長 : 柄 浩司
 教頭 : 山田 篤史(3年・歴史特論)

教務部主任 : 辰見 憲 (2年・数学B、3年・教養数学)
 総務部主任 : 池田 尚子 (2年・文学国語[現代文]、3年・論文)
 生徒部主任 : 櫻井 公博 (1年&2年・体育男子)

	1年	2年	3年
学年主任	重枝一弘 ※兼4・6・7組副担任 (2年・世界史探究)	新井原博嗣 ※兼2・7組副担任 (2年・化学基礎、3年・選択理科実験)	後藤大祐 ※兼3・6・7組副担任 (1年&3年・体育男子、3年・体育)
1組	渡邊和樹 (1年・英コミュI、論理表現I、3年・英会話)	石川茂典 (1年&2年&3年・体育女子)	齋藤祐 (3年・論理国語、論文)
2組	小泉尚子 (1年・現代の国語、3年・論文)	富澤真紀 (1年・音楽I、3年・選択音楽)	山田恒平 (1年&3年・体育男子、2年・保健)
3組	及川ゆき (1年・英コミュI、論理表現I)	菊地明範 (2年・文学国語[古文]、3年・古典探究)	鈴木章弘 (3年・論理国語、論文、物語読解)
4組	町田明弘 (1年・生物基礎)	古平健太郎 (2年・英コミュII、論理表現II)	榎本幸一 (1年・歴史総合)
5組	玉田香苗 (1年・体育女子1年&2年・保健、3年・体育)	岡田輝子 (2年・数学II)	大山裕隆 (3年・英コミュIII、Research&Output)
6組	佐藤 功 (2年・公共、3年・倫理)	新嶋聡 (2年・公共、3年・政治経済)	原空留未 (2年・文学国語[古文]、3年古典探究、論文)
7組	生田研一郎 (1年・情報I、3年・選択数学C)	石川弥 (1年・数学I、2年・数学II)	垣塚菜生 (3年・英コミュIII、論理表現III)
8組	飯田裕子 (1年・英語コミュI、論理表現I)	土井ゆかり (2年・英コミュII)	影山彰 (2年・化学基礎、3年・化学、理数探究)
9組	S	S	加藤将昭 (3年・数学III、教養数学、理数探究)
副担任	駒ヶ嶺泰暁 ※2・8組副担任 (1年・言語文化、3年・論文、書いて味わう古典)	大舘瑞城 ※3・8組副担任 (1年・現代の国語、2年・文学国語[現代文]、3年・論文)	梅田洋一 ※2・9組副担任 (3年・物理、理数探究)
	木谷聖人 ※1・3・5組副担任 (1年・数学A、2年・数学II)	前野桃子 ※1・5組副担任 (2年・論理表現II、3年・論理表現III)	大塚圭 ※1・5組副担任 (3年・英コミュIII、論理表現III)
	S	山崎尊 ※4・6組副担任 (2年・物理基礎、3年・選択理科実験)	武田一孝 ※4・8組副担任 (1年・数学I、3年・数学C、理数探究)

事務室 & 図書室 & 保健室	【事務室】 佐々木文昭・岸野俊一郎・上村敬央・嘉納陽子・佐藤正樹 中村洋子 (育休中)浅野ひかり
	【図書室】 肱黒きよ音
	【保健室】 岡村有希・仲野玲央



活動報告

1年生・オリエンテーション合宿

4月11～13日（前半クラス）、13日～15日（後半クラス）にかけて、1年生対象のオリエンテーション合宿が長野県菅平高原で行なわれました。晴天の下、クラスメイトとともに様々なアクティビティに挑戦しながら、これからの3年間をしっかりと考える3日間となりました。

～3日間の主な内容～

【1日目】

◎中杉&中大を知る

…生徒心得・中大推薦基準・進級基準・中央大学について等の説明を聞く

◎ホームルーム

…自己紹介、委員決め etc.

【2日目】

◎小テスト実施

…国語、英語、数学

◎チャレンジワークショップ

…屋内外で様々な課題をクリアし、チームワークを発揮しました！

◎ホームルーム

…球技大会のメンバー決め etc.

【3日目】

◎学年研修

…SNS利用上の注意を聞く、「総合的な探究の時間」ワークショップ



新任教員より

今年度より2名の先生方が中杉のスタッフとして加わりました。どうぞよろしくお願いたします！

1学年スタッフ 木谷 聖人（数学科）

はじめまして、木谷聖人です。以前にも中杉で授業をしていたことがあるので、また中杉生の皆さんと数学ができるのを嬉しく思います。

外国語を学ぶと、新たな文化に触れることができ、世界がぐっと広がりますよね。しかし語学はすぐに上達するわけではなく、地道なトレーニングの積み重ねが大事です。数学も同じです。「分かった」と思えるまでが長い道のりですが、その先には世界がきっと違って見えることでしょう。皆さんと一緒に充実した学びの時間を過ごせることを楽しみにしています。

2学年スタッフ 石川 弥（数学科）

変化の激しい社会において、生徒の皆さんが将来求められるのは「変化し続けること」、「成長し続けること」だと思います。そして人間が一番変化、成長することができるのは何かに「挑戦」する時だと思います。

数学という学問は、未知の問題に取り組む挑戦の繰り返しです。学校行事や学校生活も同様です。受け身にならずに勇気を出して挑戦してください。卒業した時に成長したな—と思える3年間に一緒にしていきましょう！

*昨年度まで特任講師だった古平健太郎先生(外国語科)が今年度から専任教諭として教鞭をとることになりました。あわせてよろしくお願いたします。

行事予定

※ 夏休み明けまでの日程です。日時、内容は変更になる場合があります。

4月24日(水)	一斉健康診断・内科検診	登校時間が各学年によって異なりますので注意してください。この日はジャージ登校です。授業はありませんが空き時間がありますので、自習の準備をしておきましょう。
5月9・10日(木・金)	球技大会	競技種目はバレーボール、バスケットボール、サッカーです(雨天の場合は予備日16・17日(木・金)に順延します)。教員チームも参戦します。手加減しません！
5月11日(土)	3年生・ケンブリッジ英検	中大推薦に必須の試験です。1・2年生はこの日、自宅学習となります。
5月18日(土)	第1回学級代表委員会	後援会代表役員を引き受けてくださいました方にお集まりいただきます。
5月21日(月)～5月29日(水)	後援会総会	後援会総会は書面開催となります。ご協力よろしくお願い致します。
5月22日(水)	自宅学習日	教職員健診のため、生徒は登校禁止です。一斉テストに備えてください。
5月23日(木)	一斉テスト/防災訓練	今年度から一斉テストは1日開催となりました。 午後は防災訓練です。 1年生 数学Ⅰ、数学A、生物基礎、英語CⅠ 2年生 数学Ⅱ、物理基礎、化学基礎、英語CⅡ 3年生(文) 古典探究、日本史探究、教養数学、英語CⅢ 3年生(理) 数学Ⅲ、物理、化学、英語CⅢ
5月27日(月)、6月7日(金)	1年生・普通救命講習会	東京消防庁荻窪消防署のご協力のもと、1年生全員が前半クラスと後半クラスに分かれて受講します。
6月3日(月)、4日(火)	公開授業	両日2～4限(10:00～12:50)の授業を公開します。どうぞお越しください。
6月15日(土)	文学部特別公開講座	授業終了後、希望者が中大多摩キャンパスで講座を受講します。
6月19日(水)【予定】	ようこそ卒業生	中大、他大の様々な学部に進学した卒業生が大学生活について語ってくれます。
6月22日(土)	能楽鑑賞教室(有志)	国立能楽堂にて鑑賞します(14時開演)。先着10名。奮ってご応募ください。
7月2日(火)～6日(土)	期末試験	原則として、1日2～3科目実施されます。テスト1週間前からクラブ活動禁止です。試験終了翌日から答案返却日までは自宅学習期間となります(クラブはあります)。
7月13日(土)	中大ウェルカムイベント(多摩)	全1年生は中央大学全体説明会に、全2年生と3年生希望者は商学部・経済学部・総合政策学部・国際経営学部・文学部の説明会に参加します。会場はいずれも中央大学多摩キャンパスです。
7月17日(水)	答案返却日	期末テストの全ての答案が返却されます。返却後、よく復習をしておきましょう。
7月19日(木)	終業式・学級保護者会	終業式の後、HRで通知票を渡します。保護者会でも通知票コピーをお渡しします。
8月1日(木)～4日(日)	屋久島研修(有志)	土曜講座の事前学習を受講している生徒が屋久島で実地研修をします。
8月5日(月)	学部選択セミナー(茗荷谷・市ヶ谷田町)	法学部(茗荷谷キャンパス)、国際情報学部(市ヶ谷田町キャンパス)の説明会を行います。3年生希望者のみの参加です。
8月7日(水)、8日(木)	学部選択セミナー(後楽園)	理工学部説明会を後楽園キャンパスにて行います。1年生から3年生までの希望者が参加します。
9月2日(月)	始業式	9:40SHR、10:00始業式開式です。
9月3日(火)	1,2年生実力テスト	1,2年生の実力テストです。3年生は通常授業となります。8:40登校です。

編集部より 例年になく桜が咲き誇る中、初々しい62期生を迎え、新しい年度が始まりました。2024年度もどうぞよろしくお願い致します。(鈴木・佐藤)